

| 質問事項 | アカリク神中様からの回答 |
|---|---|
| <p>1 文系の博士課程学生の採用状況と、アカリクでの文系博士課程学生の採用支援事例はありますか。 (どれくらいの事例数、どういう研究領域の人、どういう業種・職種 etc.)</p> | <p>文系博士課程の民間就職活動ですが、しっかりと時間を確保し、自己分析、業界・企業分析を行った上で活動すれば、特別の困難はない印象です。 弊社が支援した範囲での抜粋になりますが、以下に専攻別の事例を記載いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学・心理学博士の方 データサイエンティスト、データアナリスト、メディカルプランナー、ITエンジニア、システムエンジニア、コンサルタント（ビジネス、環境、IT） ・国際関係学博士の方 シンクタンク研究員、コンサルタント（ビジネス） ・経済学博士の方 シンクタンク研究員、データ分析職、コンサルタント（IT、ビジネス） ・芸術学博士の方 ITエンジニア |
| <p>2 博士課程（経済系）からの就職状況はいかがですか。 私は社会人MBAなのですが、博士課程に進んだ上で就職の選択肢はありますか。</p> | <p>企業就労経験のある方でかつ経済系博士の就職は通常、中途採用となるかと存じます。 シンクタンク、データ分析職、コンサルなど国内外ともに募集があるかと存じますので、スキルセットや志向性に対応した求人事例を定期的に集めて修了後のキャリアについて検討することをお勧めいたします。</p> |
| <p>3 博士卒か修士卒のどちらで就職するかを迷っている修士学生です。 化学系メーカーへの就職を考えているのですが、似たような境遇の方はいらっしゃいましたか。 博士卒と修士卒それぞれの強み・弱みなどをお聞きしたいです。</p> | <p>似たようなお悩みを抱えて進学、就職を考えるケースは多いかと存じます。 結論から申し上げます、ご志望の化学系メーカーの採用傾向や、活躍している社員のキャリアを調べられると良いかと存じます。 博士号取得者を評価する企業も増えてきていますが、企業毎に様々な評価基準を持つため、一般化して考えるのは適さないのが正直なところですが、その上で「就職上の強み弱み」に限定して敢えて申し上げますと別シート（表1）に記載した四象限図のようになるかと存じます。 参考までにご確認ください。</p> |
| <p>4 民間企業への就活をする際、3年間で博士課程修了予定として説明すると思いますが、最終的に3年間で修了が難しく、単位取得退学とする、その後遅れて博論を提出する、という形になる可能性があります。 この場合問題はありますか。どのような対応や説明が必要となるでしょうか。</p> | <p>ポジションの要件に、博士号取得が必須として入っている場合は、内定取消となる可能性があります。 それ以外の場合は特に問題にはならないかと存じます。 あとは、企業に在籍しながら学位取得に向けてどれくらい時間をかける必要があるか、大学の研究室に滞在する必要があるか、などを内定先企業、所属研究室と相談して決めていくのが良いかと存じます。</p> |
| <p>5 博士課程を半年や1年間休学して、あるいは博士課程を3年から延長して、関心がある団体でのインターンや現場経験を積む期間を設けた場合、これは民間企業への就活に何か支障をきたしてしまいますでしょうか。修了時には30歳を超えるので年齢的な不安もあります。</p> | <p>関心がある団体でのインターンや現場経験の目的と優先順位によるかと存じますが、一般的には、そのご経験が民間企業でどれくらい活かすことができるかを選考で説明できるかによるかと存じます。 また新卒採用は年齢が上がると徐々にハードルが高くなります。求人への年齢制限の記載は問題があることもあり記載されないことが多いですが、入社時30歳未満が望ましい、という話は伺います。我々が支援した範囲では33、4歳くらいまでが新卒採用の限度という感覚があります。 一方で30代以降の場合、中途採用も選択肢に入れてJREC-INなどで専門職求人を探すのも一つの手です。 産業界の中途採用の求人は要求される能力や経験が明確に記載されていることが多いため、それらを調査してから判断しても良いかと存じます。</p> |
| <p>6 博士卒で民間企業へ研究職以外で就職する人はどのくらいいるのでしょうか。 また博士卒で民間企業へ就職する場合、そういった研究職以外の職も視野に入れる必要があるのでしょうか。</p> | <p>令和4年度学校基本調査を元に作成したグラフを別シート（表2）に記載いたします。 ご専門によりますが、どの専攻も半数近くの方が研究職以外の就職をされています。 選考通過率や実現可能性から考える方法もありますが、どちらかというご質問者様が研究職にどれくらい入職したいかというキャリアの考え方によって決められるのが良いかと存じます。 自己分析、業界、企業研究を行った結果、絶対に研究職が良いという場合は、それを実現するための計画を立てると良いかと存じます。 参考までに研究職以外の選択肢についての記事をご紹介します（https://acarc.jp/articles/4441）。</p> |
| <p>7 どのような企業が博士学生の採用に力を入れているのか。</p> | <p>全体としては研究・開発職（基礎・応用研究、設計・開発）を持つ製造業が中心ではありますが、近年はそうした特定の業界、職種に限らず、博士学生の採用が広まってきている印象があります。経済産業省による博士人材の処遇事例集もご確認ください (https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/houkokusho/reiwa4_hakasejinzai_jireisyu.pdf)。</p> |
| <p>8 留学生の就職活動に対しては同じ流れですか。</p> | <p>基本的に日本人の方と同じ流れですが、在留資格変更手続き等については注意するようにしてください。 在留資格変更手続きは時間を要することがありますので、内定承諾後、余裕をもって行動するようにしてください。</p> |
| <p>9 基礎研究に力を入れている企業はどんな企業がありますか。</p> | <p>J-GLOBALで「株式会社+キーワード」検索すると、ご興味のある基礎研究を行っている企業を見つけられるかもしれません（https://jglobal.jst.go.jp/）。 基礎研究の分類についてはご存知かもしれませんが、以下のサイトもご参照ください（https://acarc.jp/articles/3122）</p> |
| <p># 博士課程からの研究職への就活では英語力はどれほど必要でしょうか。 これまでご担当された方のTOEICの点数を踏まえて、ある程度の目安などお教え頂ければ幸いです。</p> | <p>企業によりませんが、研究職でTOEICが求められる場合は600点〜となるかと存じます（求められない場合も多いです）。 以下の記事も参考になるかと存じます (https://acarc.jp/articles/4438#toc1)。</p> |

表 1
(質問3に関する参考)

| | 就職上の強み | 就職上の弱み |
|------|--|--|
| 博士課程 | 専門職を中心とした、博士を評価する企業、職種に就職しやすくなります。専門職は博士早期選考から取り始めることが多いです。企業によっては、博士早期選考で専門職採用が充足する可能性もあるため、確実に選考に参加できることは強みの一つ | 博士号取得者を評価しない、若さ（入社時〇〇歳まで等）に重きを置く文化を持つ企業も存在します。 |
| 修士課程 | 専門職以外の幅広い業界の選考を受けることを考える場合、企業によっては年齢等の点で博士課程より有利になる可能性があります。 | 学位を評価する企業の場合、博士号取得者と競うこととなります。また企業によっては、管理職等への昇格時に博士号を要件として課している場合もあります。社会人博士課程進学は増えているものの、一様に「働きながら博士課程はとても大変だ」と仰います。 |

※一般化は適さないものをご承知の上でご覧ください

表 2
(質問6に関する参考)

博士課程修了直後に研究職以外に着任した割合

